進化する個性派化学

昭和電工株式会社
2011年第3四半期　決算説明資料

2011年11月1日決算発表

取締役 執行役員 CFO
酒井　仁和

本資料は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後、市況や為替レートの変動などを含む様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

連結対象会社（6月末対比）

- 連結子会社　　42社：+1社　サーマル・テクノロジー・コーポレーション・オブ・アメリカ（アルミニウム）
- 持分法適用会社 18社：+1社　NSスチレンモノマー（石油化学）

主要諸元

（期中平均）

	2010年7-9月	2011年7-9月	増減
■為替レート※（円/US$）	85.9	77.9	8.0円高
■国産ナフサ（円/KL）	42,700	54,900	12,200
■アルミ LME（US$/T）	2,107.5	2,433.9	326.4

※11年6月30日期末レート80.7円　　11年9月30日期末レート76.7円

⇒ 4.0円円高

連結業績の概要(7-9月対比)

(億円)

	2010年7-9月	2011年7-9月	増減
売上高	2,003	2,251	249
営業利益	98	168	70
営業外損益	△23	△20	3
内、金融収支	△13	△12	1
内、持分法投資利益	3	1	△2
内、為替差損益	△9	△2	7
経常利益	75	147	72
特別利益	1	2	1
内、投資有価証券売却益	1	0	△1
特別損失	△38	△18	20
内、固定資産除却損及び売却損	△11	△4	7
内、減損損失	△2	△3	△1
税金等調整前四半期純利益	39	131	93
法人税等	△15	△29	△14
少数株主損益調整前四半期純利益	23	102	78
少数株主利益	△6	△6	0
四半期純利益	17	96	79

連結売上高差異内訳(7-9月対比)

(億円)

	2010年 7-9月	2011年 7-9月	増減	項目
石油化学	534	640	106	オレフィン:増収(原料高に伴う価格上昇) 有機:増収(価格上昇、アリルアルコール等の数量増)
化学品	323	316	△7	AN、半導体向け特殊ガス:減収(数量減) 機能性高分子材料:小幅減収(市況軟化) クロロプレンゴム:増収(価格上昇)
エレクトロニクス	329	521	192	HD:大幅増収(能力増強が寄与し数量増) 化合物半導体:減収(価格低下) レアアース:大幅増収(数量増、原料高に伴う価格上昇)
無機	204	188	△16	電極:減収(円高) セラミックス:増収(電子材料分野向け堅調)
アルミニウム	341	327	△14	コンデンサー用高純度箔:小幅増収(原料高に伴う価格上昇) LBP用アルミニウムシリンダー:減収(数量減) 熱交換器:減収(数量減:大震災による自動車業界の生産減) ショウティック:増収(数量増) アルミ缶:減収(数量減:ビール類の消費低迷)
その他	395	367	△29	リチウムイオン電池関連材料:増収(数量増) 昭光通商:前年同期並み エンジニアリング:減収(事業縮小)
調整額	△124	△107	17	
合計	2,003	2,251	249	

連結営業利益差異内訳(7-9月対比)

(億円)

	2010年 7-9月	2011年 7-9月	増減	項目
石油化学	6	10	4	増益(ナフサ価格変動に伴う原料受払差改善)
化学品	6	△5	△11	AN、工業ガス、半導体向け特殊ガス:減益(数量減) 機能性高分子材料:減益(市況軟化) クロロプレンゴム:増益(価格上昇)
エレクトロニクス	35	125	90	HD:増益(大幅数量増) 化合物半導体:減益(価格低下) レアアース:増益(数量増、価格上昇)
無機	33	25	△8	電極:減益(円高) セラミックス:増益(電子材料分野向け堅調)
アルミニウム	24	24	0	コンデンサー用高純度箔:小幅減益(原料高) LBP用アルミニウムシリンダー、ショウティック:前年同期並み 熱交換器:減益(数量減:大震災による自動車業界の生産減) アルミ缶:増益(コストダウン)
その他	7	3	△4	電池材料コスト増
調整額	△13	△14	△1	
合計	98	168	70	

連結業績の概要(1-9月累計対比)

(億円)

	2010年1-9月	2011年1-9月	増減
売上高	5,844	6,416	573
営業利益	275	389	113
営業外損益	△60	△61	△1
内、金融収支	△34	△33	2
内、持分法投資利益	10	5	△5
内、為替差損益	△14	△7	6
経常利益	216	328	112
特別利益	30	15	△15
内、補助金収入	20	―	△20
内、退職給付引当金戻入額	―	7	7
特別損失	△99	△102	△3
内、固定資産除却損及び売却損	△27	△10	17
内、減損損失	△13	△7	7
内、東日本大震災関連損失	―	△31	△31
内、契約解除補償金	―	△25	△25
税金等調整前四半期純利益	147	241	94
法人税等	△34	△44	△10
少数株主損益調整前四半期純利益	113	197	84
少数株主利益	△19	△22	△3
四半期純利益	94	175	81

連結売上高差異内訳(1-9月累計対比)

(億円)

	2010年 1-9月	2011年 1-9月	増減	項目
石油化学	1,441	1,911	470	オレフィン:増収(定修差による数量増、価格上昇) 有機:増収(価格上昇、アリルアルコール数量増)
化学品	981	979	△2	AN、クロロプレンゴム:増収(価格上昇) 工業ガス、アンモニア:減収(数量減) 機能性高分子材料、半導体向け特殊ガス:前年同期並み
エレクトロニクス	1,057	1,206	149	HD:前年同期並み(数量増だが円高) 化合物半導体:減収(数量減) レアアース:増収(数量増、価格上昇)
無機	589	589	0	セラミックス:増収(電子材料分野向け堅調) 電極:減収(円高)
アルミニウム	988	944	△44	コンデンサー用高純度箔、ショウティック:増収(数量増) LBP用アルミニウムシリンダー、アルミ缶:減収(数量減) 熱交換器:減収(数量減:大震災による自動車業界の生産減)
その他	1,146	1,132	△13	リチウムイオン電池関連材料:増収(数量増) 昭光通商:増収(金属事業) エンジニアリング:減収(事業縮小)
調整額	△358	△345	13	
合計	5,844	6,416	573	

連結営業利益差異内訳(1-9月累計対比)

(億円)

	2010年 1-9月	2011年 1-9月	増減	項目
石油化学	8	51	43	オレフィン:増益(定修差による数量増、原料受払差の改善) 有機:増益(価格上昇、アリルアルコール数量増)
化学品	40	23	△16	AN、アンモニア:減益(数量減) 半導体向け特殊ガス:減益(価格低下) 卸電力:減益(燃料価格上昇) クロロプレンゴム:増益(価格上昇)
エレクトロニクス	105	200	95	HD:増益(数量増) 化合物半導体:前年同期並み レアアース:増益(数量増、価格上昇)
無機	73	81	8	セラミックス:増益(電子材料分野向け堅調) 電極:減益(円高)
アルミニウム	69	60	△9	コンデンサー用高純度箔、ショウティック、アルミ缶:前年同期並み LBP用アルミニウムシリンダー:減益(数量減) 熱交換器:減益(数量減:大震災による自動車業界の生産減)
その他	13	18	5	昭光通商:増益(金属事業)
調整額	△33	△45	△12	
合計	275	389	113	

連結貸借対照表

（億円）

資産	2011年6月末	2011年9月末	増減	負債・純資産	2011年6月末	2011年9月末	増減
現預金	371	359	△13	営業債務	1,023	1,081	58
営業債権	1,465	1,511	45	有利子負債	3,593	3,556	△37
たな卸資産	1,080	1,201	121	退職給付引当金	252	247	△5
その他	310	308	△2	その他	1,521	1,536	15
流動資産計	3,227	3,378	152	負債計	6,389	6,420	31
建物・構築物	879	854	△25	資本金	1,406	1,406	―
機械装置・運搬具	1,367	1,308	△58	資本剰余金	622	622	0
土地	2,558	2,554	△4	利益剰余金	399	493	93
他有形固定資産	157	166	9	自己株式	△1	△1	0
有形固定資産計	4,961	4,883	△77	株主資本計	2,426	2,519	93
無形固定資産	120	114	△6	その他有価証券評価差額金	△39	△47	△8
投資その他の資産	967	952	△15	繰延ヘッジ損益・為替換算調整勘定	△163	△231	△68
(内、投資有価証券)	605	595	△11	土地再評価差額金	225	227	2
				評価・換算差額等計	23	△51	△74
				少数株主持分	436	439	3
固定資産計	6,047	5,949	△98	純資産計	2,885	2,907	22
資産合計	**9,274**	**9,327**	**54**	**負債・純資産合計**	**9,274**	**9,327**	**54**

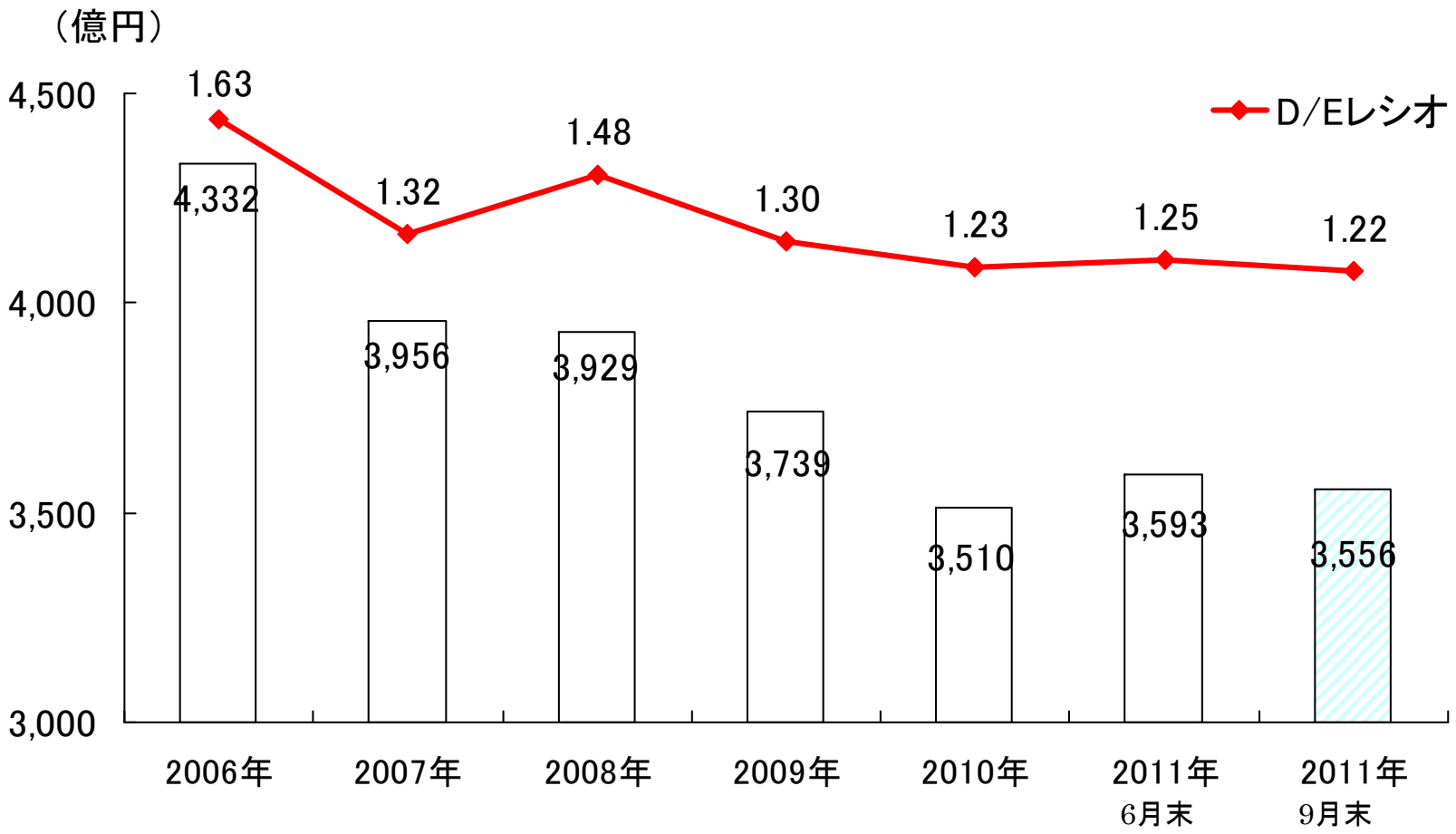
総資産・有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率

	2011年6月末	2011年9月末	増減
総資産	9,274億円	9,327億円	54億円増加
有利子負債	3,593億円	3,556億円	37億円減少
D/Eレシオ	1.25倍	1.22倍	0.03p改善
自己資本比率	26.4%	26.5%	0.1p上昇

連結キャッシュ・フロー

	2010年1－9月	2011年1－9月	2011年7－9月
営業CF	399億円	297億円	158億円
投資CF	△403億円	△298億円	△106億円
フリーCF	△4億円	△1億円	52億円
財務CF	△246億円	△60億円	△47億円
その他	△14億円	△18億円	△18億円
現預金増減額	△264億円	△79億円	△12億円

連結有利子負債の推移



自己資本比率	22.7%	26.9%	25.0%	25.5%	26.1%	26.4%	26.5%

（ご参考）連結業績の概要（11年2Q、3Q対比）

（億円）

	2011年4-6月	2011年7-9月	増減
売上高	2,235	2,251	16
営業利益	127	168	40
営業外損益	△26	△20	6
内、金融収支	△10	△12	△2
内、持分法投資損益	0	1	1
内、為替差損益	△6	△2	4
経常利益	101	147	46
特別利益	11	2	△9
特別損失	△43	△18	25
税金等調整前四半期純利益	69	131	62
法人税等	△10	△29	△20
少数株主損益調整前四半期純利益	59	102	42
少数株主利益	△7	△6	1
四半期純利益	52	96	43

（ご参考）連結売上高差異内訳（11年2Q ,3Q対比）

（億円）

	2011年 4-6月	2011年 7-9月	増減	項目
石油化学	682	640	△41	オレフィン：減収（価格低下） 有機：減収（酢エチ等で数量減）
化学品	339	316	△23	8～9月川崎定修実施 AN：減収（数量減、価格低下） 半導体向け特殊ガス、機能性高分子材料：減収（数量減）
エレクトロニクス	421	521	100	HD：増収（能力増強が寄与し数量増） 化合物半導体：増収（超高輝度LEDの数量増） レアアース：増収（数量増、原料高に伴う価格上昇）
無機	203	188	△15	セラミックス：減収（数量減） 電極：減収（円高）
アルミニウム	320	327	6	熱交換器：増収（数量増：自動車業界の生産回復）
その他	386	367	△19	昭光通商：減収（合成樹脂事業等）
調整額	△115	△107	8	
合計	2,235	2,251	16	

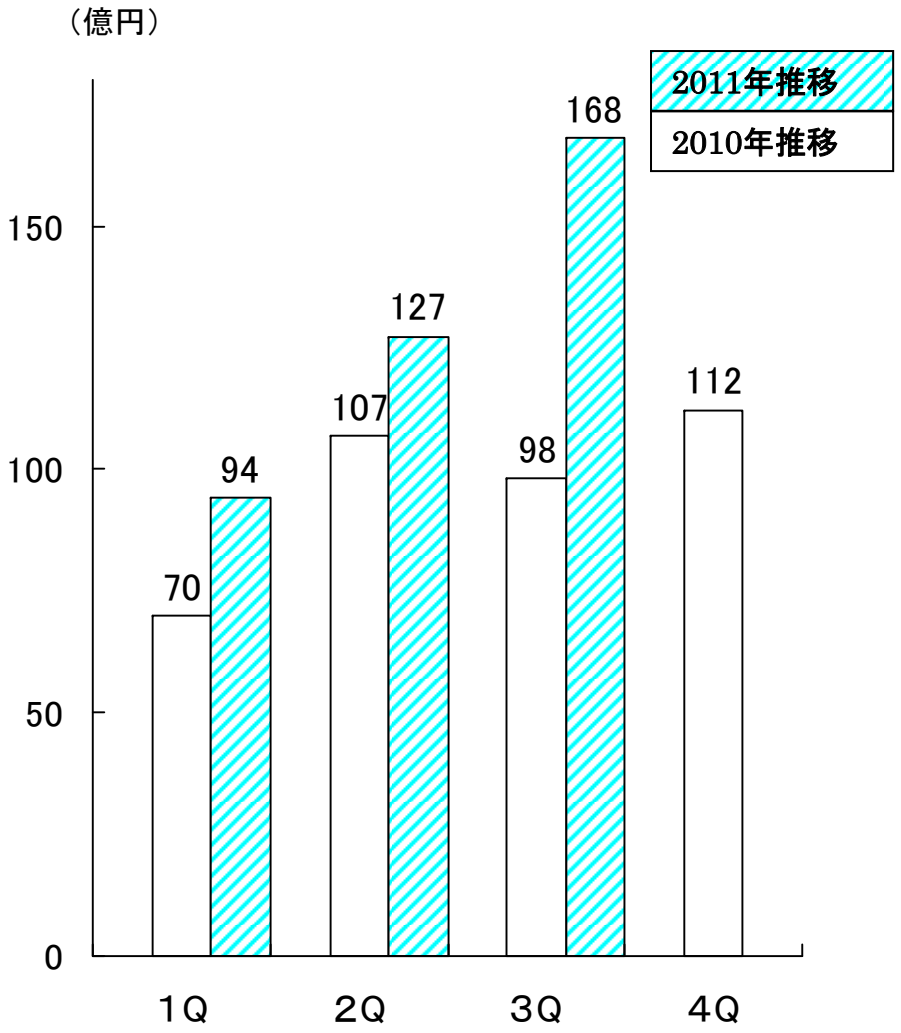
（ご参考）連結営業利益差異内訳（11年2Q ,3Q対比）

（億円）

	2011年 4-6月	2011年 7-9月	増減	項目
石油化学	20	10	△10	オレフィン：減益（原料受払差の悪化）
化学品	11	△5	△16	8～9月川崎定修実施 AN：減益（数量減、価格低下） 工業ガス、機能性高分子材料：減益（数量減）
エレクトロニクス	54	125	71	HD：増益（能力増強が寄与し数量増） レアアース：増益（数量増、価格上昇）
無機	32	25	△7	セラミックス：減益（数量減） 電極：減益（円高）
アルミニウム	20	24	4	熱交換器：増益（数量増：自動車業界の生産回復）
その他	8	3	△5	昭光通商：減益（合成樹脂事業等）
調整額	△17	△14	3	
合計	127	168	40	

（ご参考）四半期別連結営業利益推移

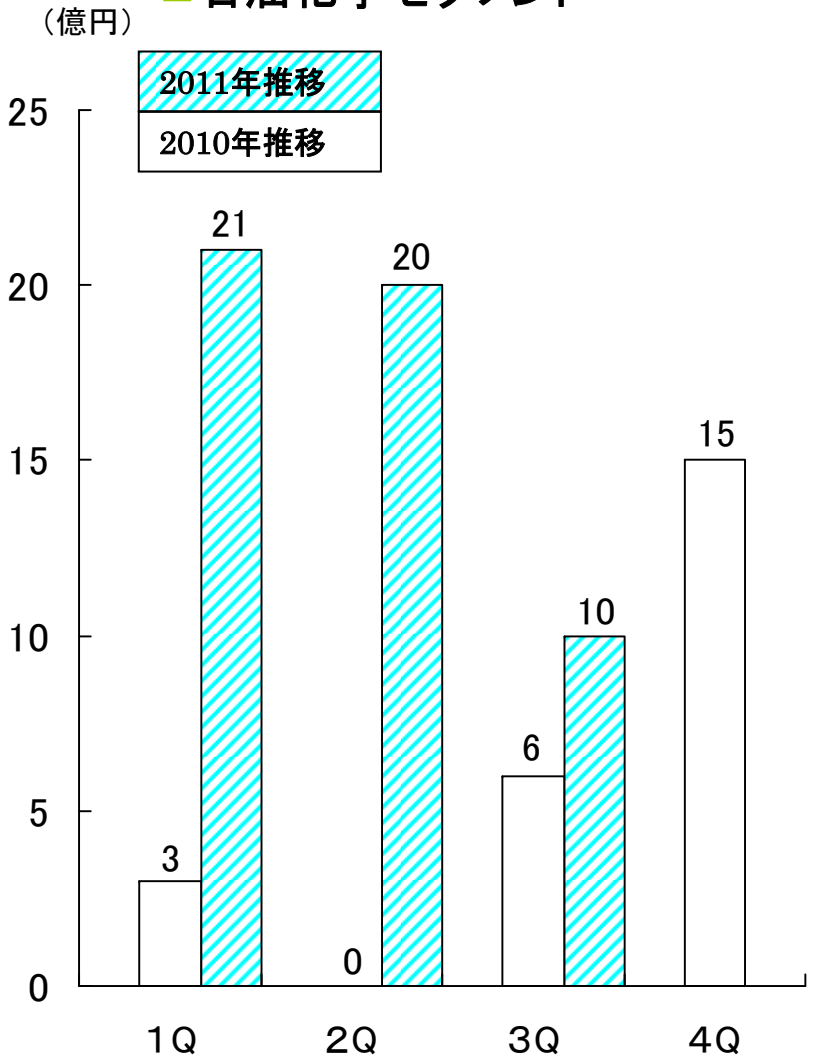
■全　　社



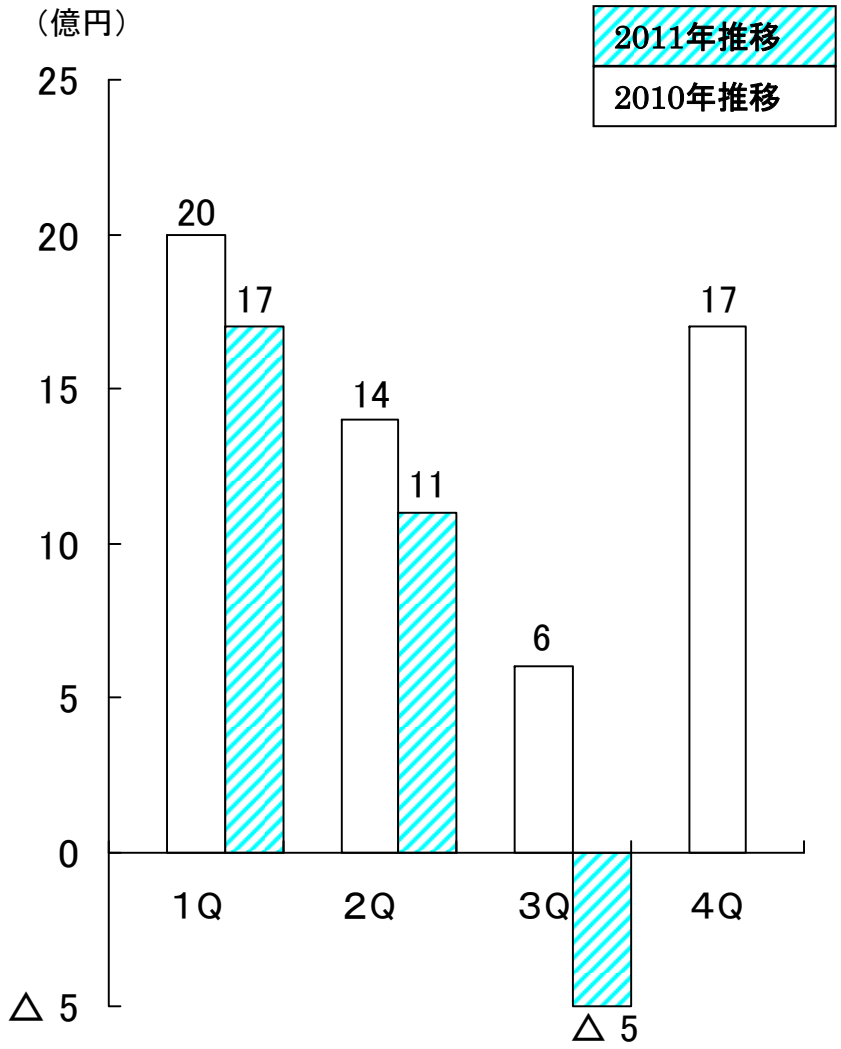
（注）当第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等（マネジメント・アプローチ）を適用し、セグメント区分を変更いたしました。
2010年実績は、ご参考として新セグメントに対応するように組み替えて表示しております。

（ご参考）セグメント別営業利益推移

■石油化学セグメント

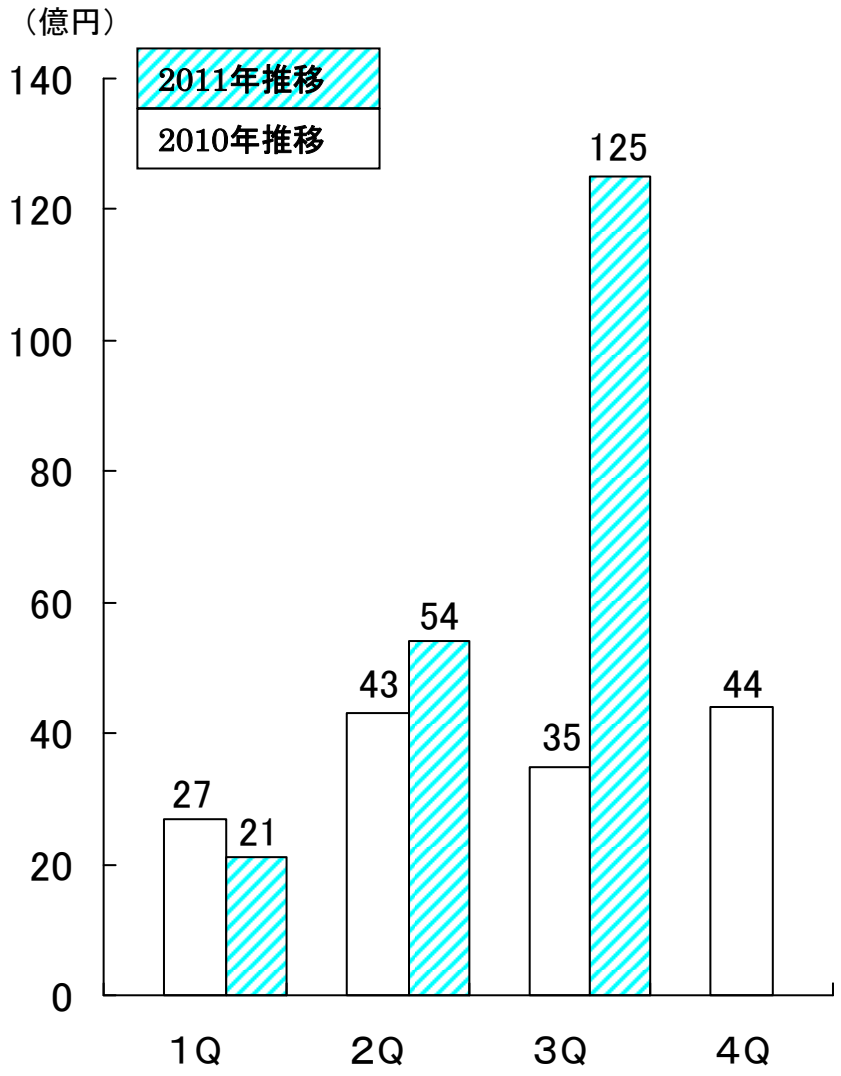


■化学品セグメント

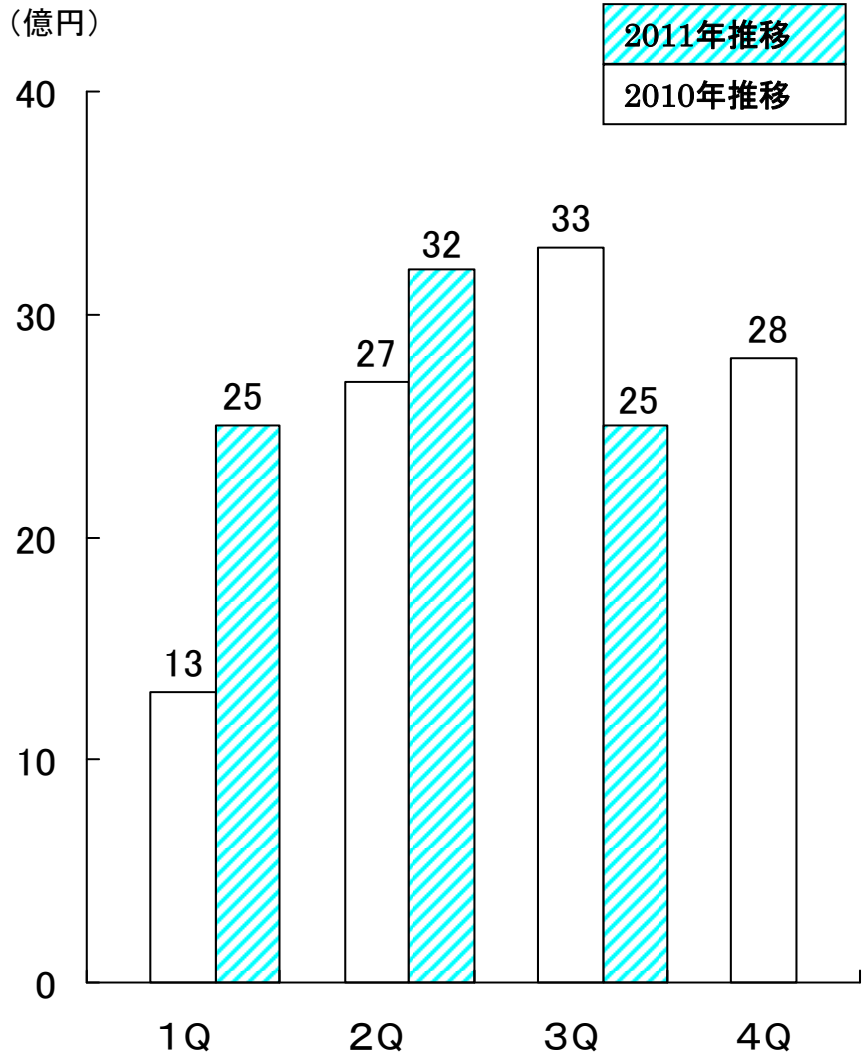


（ご参考）セグメント別営業利益推移

■エレクトロニクスセグメント

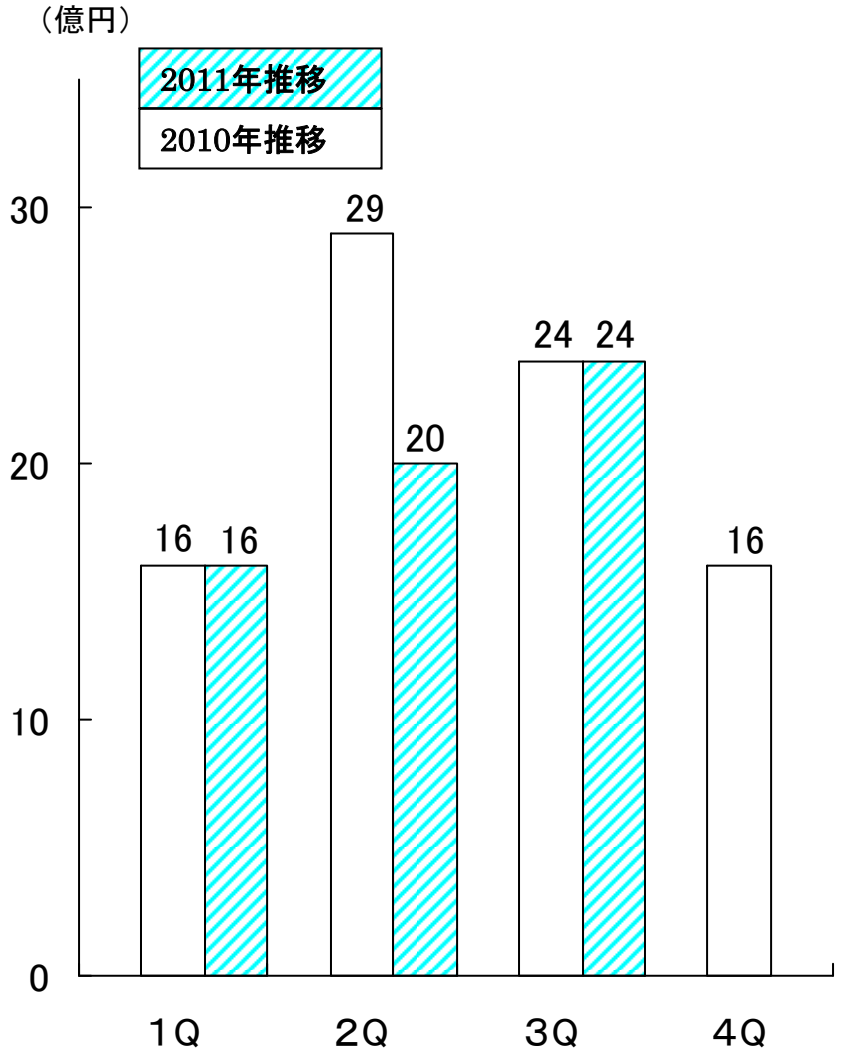


■無機セグメント

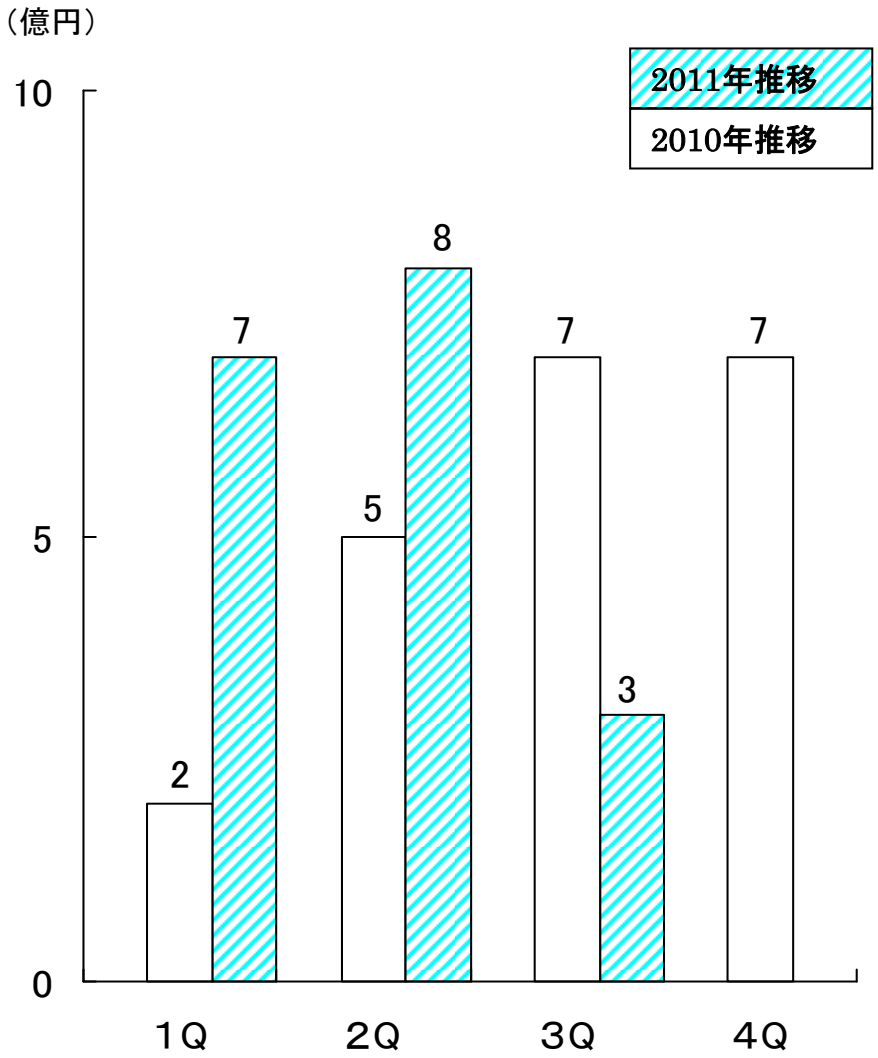


（ご参考）セグメント別営業利益推移

■アルミニウムセグメント



■その他セグメント



セグメント別トピックス

（第２四半期決算後に決定・実施した主な施策）

■石油化学セグメント

●耐熱透明フィルムパイロットプラントを竣工

◆ ディスプレー向け耐熱透明フィルム「ショウレイアル®」について本年7月に大分コンビナート内にパイロット設備を完成させ、運転を開始。「ショウレイアル®」は当社メガネレンズ向け樹脂の技術をベースに開発した製品で、光学フィルムとして必要な高い透明性とタッチパネル等のディスプレー製造時に求められる耐熱性を兼ね備えている。

■化学品セグメント

●産業ガスの事業移管に関する契約を締結

◆ 産業ガス(注)の事業運営について、当社と100%子会社「昭和炭酸㈱」による分業体制から昭和炭酸㈱に一本化するため、2012年１月１日に会社分割により同社へ同事業を承継することを本年６月に決定し、本年10月に当該事業承継にかかる吸収分割契約を締結。
昭和炭酸㈱は、今回の事業承継に併せて「昭和電工ガスプロダクツ㈱」に商号を変更する予定。

（注）当社グループの産業ガス事業：セパレートガス事業（酸素、窒素、アルゴン等）、圧縮水素事業、炭酸・ドライアイス事業等

セグメント別トピックス
（第２四半期決算後に決定・実施した主な施策）

■エレクトロニクスセグメント

●世界最大記録容量500ギガバイトの2.5インチハードディスクの量産を開始

◆ 情報通信量の世界的な増大による大記録容量のハードディスク需要の高まりに対応し、本年７月より2.5インチサイズで世界最大(注)の記録容量となる500ギガバイト／枚のハードディスク（垂直磁気記録方式第６世代）の量産を開始。

（注）2011年8月3日現在、当社調べ

●ハードディスクの生産能力増強を完了

◆ ハードディスクドライブに内蔵されるハードディスクについて、子会社「昭和電工HDシンガポール」において進めてきた生産能力の増強工事を完了させ、本年７月より生産能力を全生産拠点合計で月産2,700万枚へ引き上げた。ハードディスクドライブは、PCに加えサーバー市場の拡大等により中期的に需要拡大が見込まれている。

●中国におけるネオジム系レアアース磁石用合金工場の生産能力を増強

◆ ハイブリッド自動車等の駆動モーターやハードディスクドライブのボイスコイルモーター等に使用されるネオジム系レアアース磁石の原料である磁石用合金について、本年７月に子会社「贛州昭日稀土新材料有限公司」（中国江西省）の年産能力を2,000トンから3,000トンに引き上げた。これにより当社の中国における磁石用合金の生産能力は、内モンゴル自治区包頭の子会社と合わせ、年間4,000トンとなった。

セグメント別トピックス
（第２四半期決算後に決定・実施した主な施策）

■無機セグメント

●超微粒子酸化チタン生産設備増強を完了

◆ 積層セラミックコンデンサーの原料である超微粒子酸化チタン「スーパータイタニア®」について、子会社「昭和タイタニウム株式会社」において進めていた生産能力増強を完了させ、本年８月より稼動を開始。今回の増強により生産能力は月産240トンになる。積層セラミックコンデンサーは、軽量化が進む情報機器や薄型テレビなどの省エネ家電に多く使用され、これらの電子機器の拡大に伴い市場が拡大している。

■アルミニウムセグメント

●高純度アルミ箔事業強化策を決定

◆ 高純度アルミ箔について、堺事業所における生産能力の増強と最終加工を行う中国拠点の新設を本年８月に決定。高純度アルミ箔は、家電製品やインバーター用省エネ製品、IT機器などに用いられるアルミ電解コンデンサーの主要材料である。今回の生産能力増強により、当社グループ全体の供給能力は月産2,000トンから2013年には同3,000トンへ。
　また、今後特に電気自動車やプラグインハイブリッド車向けの自動車関連機器や風力、太陽光などの新エネルギー分野での需要拡大が見込まれることから、今回増強する設備はこれらの分野に使用される高圧型電解コンデンサー用に対応したものとする。

セグメント別トピックス
（第２四半期決算後に決定・実施した主な施策）

■アルミニウムセグメント

●自動車空調用熱交換器事業の会社分割の実施および譲渡予定の延期

◆ 日本、米国、タイ、チェコ、中国の各拠点で生産しているコンデンサーやエバポレーター等のアルミニウム製自動車空調用熱交換器事業を㈱ケーヒンへ譲渡するため、会社分割により子会社「株式会社サーマル・テクノロジー」へ同事業を承継することを本年８月に決定。これに伴う会社分割および同社株式の㈱ケーヒンへの譲渡を本年10月に予定していたが、中国での競争法に基づく手続きが遅れたため、それぞれを2012年１月に延期することとした。

■その他セグメント

●リチウムイオン二次電池材料の生産能力を増強

◆ 自動車や蓄電用途向け大型リチウムイオン二次電池およびスマートフォンやタブレット端末用途向け小型リチウムイオン二次電池の需要拡大に向け、人造黒鉛負極材（SCMG®）、正負極添加剤（VGCF®）および子会社「昭和電工パッケージング㈱」における電池包材用アルミラミネートフィルムについて各生産設備の能力増強を決定。生産工程のボトルネック解消や生産設備の増強を行い、本年末から2012年上期にかけて、年産能力をSCMG®は3,000トン（現年産能力1,000トン）、VGCF®は200トン（同100トン）、アルミラミネートフィルムは1.5倍にそれぞれ引き上げる。